



国立科学博物館
National Museum of Nature and Science



鳥との関わりから
知らなかった自然の姿が見えてくる

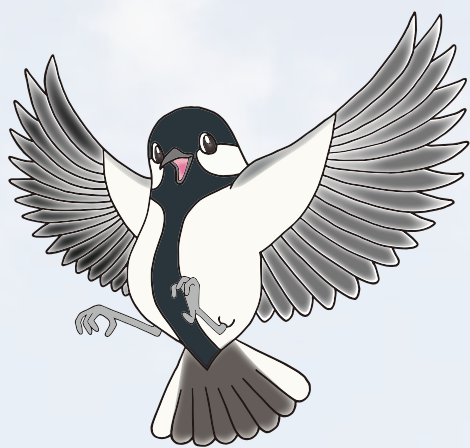
鳥の眼で 見る 自然展

2016年
11/5[土]—11/13[日]
開園時間9時—16時30分(入園は16時まで) 会期中休園なし

国立科学博物館 筑波実験植物園

【入園料】 一般310円 団体(20名様以上)210円 65歳以上・高校生以下無料 障害者手帳をお持ちの方及びその介護者1名無料
【会場】 〒305-0005 茨城県つくば市天久保4-1-1 【お問い合わせ】 TEL:029-851-5159 / FAX:029-853-8998 / <http://www.tbg.kahaku.go.jp>

植物多様性を知る・守る・伝える
筑波実験植物園
Tsukuba Botanical Garden



鳥の眼で見る自然展

2016年 11/5 [土] — 11/13 [日]

植物園は植物だけじゃない！鳥も虫もすんでいる

植物園に生きる鳥の生活をのぞいてみよう。鳥はいろいろな虫や木の実を食べている。木や草を使って巣を作っている。でもそのおかげで、植物が芽生えたり、虫がすみかを手に入れたりもできるって知ってた？

鳥との関わりの中で、知らなかった自然の姿が見えてくる。「へえー」と驚き、納得することは確実。あなたも鳥の眼で自然を、そして植物園を見てみよう。

公開シンポジウム 鳥学者の眼で見る自然

日時：11月6日（日） 13：30～16：00

会場：研修展示館3階セミナー室

内容：「種子散布：森や林をつくる鳥」 上田 恵介（立教大学名誉教授）
「鳥が実らせる果実の話」 国武 陽子（城西国際大学准教授）
「鳥の巣は虫のすみか」 濱尾 章二（国立科学博物館 動物研究部）
「熱帯の森に種子をまく鳥たち」 北村 俊平（石川県立大学准教授）

定員：40名 ※予約不要・先着順

ワークショップ 研究者といっしょに巣箱をかけてみよう

鳥が利用する巣箱の作り方やかけ方を学び、実際に植物園内で巣箱をかけてみるワークショップです。

日時：11月5日（土）・11月13日（日）

各日とも14：00～15：00

講師：濱尾 章二（国立科学博物館 動物研究部）

集合：研修展示館前

対象：親子（ペアあるいは家族で）

定員：各回10組 ※要事前予約

※雨天時はギャラリートークを行います

予約窓口：029-851-5159

10月5日（水）から受付開始

園内バードウォッチング 鳥の生活をみてみよう

植物園を歩きながら、鳥の見つけ方、観察のしかたを解説します。双眼鏡をもっている方は持参して下さい。

日時：11月5日（土）・11月6日（日）・11月13日（日）

各日とも11：00～12：00

講師：濱尾 章二（国立科学博物館 動物研究部）

集合：教育棟

定員：20名 ※要事前予約

予約窓口：029-851-5159

10月5日（水）から受付開始

ギャラリートーク

植物博士が皆様に見せたい展示を厳選！ダイジェストガイドツアーを開催します。

日時：11月12日（土）11：00～12：00 / 13：00～14：00

講師：奥山 雄大（国立科学博物館 植物研究部）

集合：教育棟

定員：なし ※予約不要

展示内容

鳥の巣のひみつ：鳥は周囲の生物を巣の中に運んでくれます。また巣の中は、ほかの生き物のすみかにもなります。鳥の巣をめぐる生き物たちの関係を紹介します。

鳥と植物はなかよし？：鳥は植物の花の蜜や実を食べます。これは植物の役に立っているのでしょうか？鳥と植物のいろいろな関係を見てみましょう。

植物園の鳥たち：筑波実験植物園にやってくる鳥を季節の変化とともに紹介します。入園者の方が撮影した写真も展示します。



アクセス情報

□自動車

常磐自動車道 桜土浦 I.C. から北（筑波山方面）へ 8Km

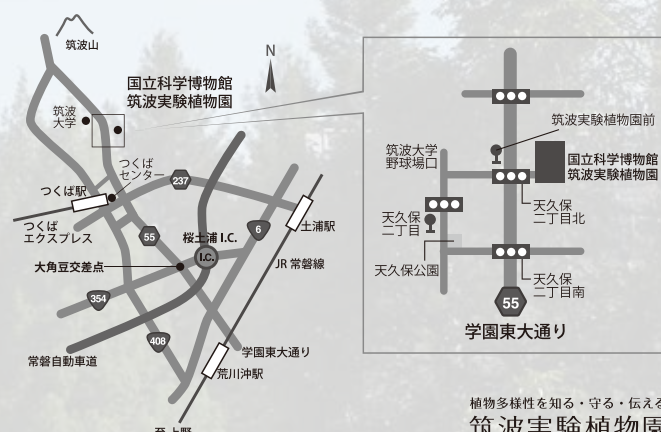
無料駐車場 120 台

□電車・バス

つくばエクスプレス「つくば」駅より関東鉄道バス

テクノパーク大穂行き「筑波実験植物園前」下車徒歩 2 分または

筑波大学循環（左回り）「天久保 2 丁目」下車徒歩 8 分



植物多様性を知る・守る・伝える
筑波実験植物園
Tsukuba Botanical Garden